

Enjoy
Your

SUITABLE

Sports!

吹田市スポーツ推進計画・
吹田市スポーツ施設整備方針
〈概要版〉

発行年月／令和6年(2024年)3月
発行・編集／吹田市 都市魅力部 文化スポーツ推進室
〒564-8550 大阪府吹田市泉町1丁目3番40号
TEL/06-6384-1231 FAX/06-6368-9908

吹田市スポーツ推進計画

近年のライフスタイルや価値観の変化、スポーツの分野や種目、関わりの多様化などにより、行政に求められるニーズや課題も大きく変化していることから、吹田市のスポーツ施策をソフト・ハードの両面から体系的・計画的に推進していくために「吹田市スポーツ推進計画」を策定しました。

◎ スポーツの定義が広がっています

勝敗や記録を競う競技スポーツだけでなく、健康づくりのためのウォーキングやジョギング、レクリエーションスポーツやアウトドアスポーツ、介護予防のための軽い運動など、様々なかたちで自発的に楽しむ身体的活動を幅広く「スポーツ」としています。



◎ スポーツとの関わり方は様々です

スポーツは実際に「する」だけでなく、「みる」、「ささえる」など様々な関わり方があります。さらに、スポーツに関わる人が相互に影響し合うことで、スポーツを通じて人や団体、地域などと「つながる」という効果が期待できます。

- する**
- 競技性の高いスポーツ
 - 散歩、ストレッチ
 - レクリエーションスポーツなど

- みる**
- プロスポーツの試合観戦
 - 家族や友達が参加するスポーツ大会の応援

- ささえる**
- 子供たちへの指導
 - 地域のスポーツイベントの運営の手伝い

つながる

- スポーツを通じた人と人との交流による仲間づくり
- スポーツを通じた地域コミュニティの活性化

基本理念

Enjoy Your SUITable Sports!

誰もがいつでも楽しみながら
身近にスポーツと関わることができる

誰もが自分に合ったスポーツとの
関わり方を見つけられる

基本目標

1. する
誰もがスポーツに
親しめる環境づくり

年齢や性別、国籍、障がいの有無等に関わらず、全ての市民がそれぞれのライフステージや関心などに応じて、気軽に身近に安全に運動・スポーツに親しむことができるよう、多様なニーズに応じた施策の展開や環境づくりを進めます。

2. みる
スポーツの魅力に
触れることができる
環境づくり

市民のスポーツへの関心や実施意欲の向上にむけて、本市で活躍するトップアスリート等との連携や交流を促進するとともに、スポーツ観戦環境の充実を図り、身近な場所で様々なスポーツの魅力に触れることができる環境づくりに取り組みます。

3. ささえる
スポーツ活動を
ささえる
担い手づくり

地域においてスポーツ活動をささえてくれる担い手の確保に向けて、ボランティアや指導者など担い手の発掘や育成を図るとともに、活動の継続に向けた支援に取り組みます。また、民間事業者等を含む多様な担い手との連携を進めます。

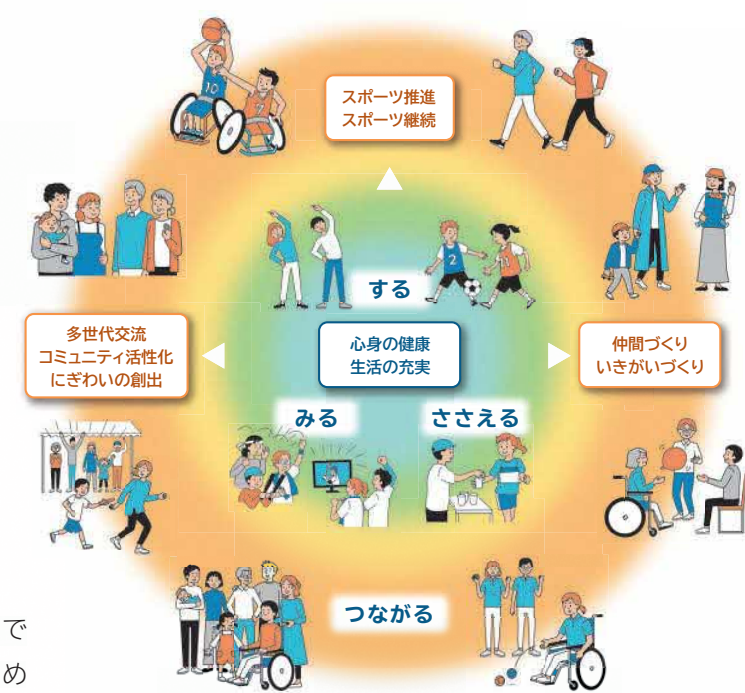
つながる スポーツで人と人がつながる

スポーツは、「する」「みる」「ささえる」という様々な関わり方において、人と人が活動を共にすることで、楽しみや感動、やりがいなどを共有し、つながりや一体感を感じることができるものです。そのつながりがスポーツを継続するモチベーションや、さらなるスポーツ活動への参加のきっかけとなりえます。

3つの基本目標に関する様々な取組を推進していくことで、スポーツを通じた多世代の人と人とのつながりを創出し、スポーツだけでなく幅広い分野に広がることにより、まちのにぎわい創出や地域の活性化を目指します。

計画期間

令和6年度(2024年度)から令和15年度(2033年度)までの10年間とします。なお、社会情勢の変化等に対応するために、必要に応じて計画の見直しを行うこととします。



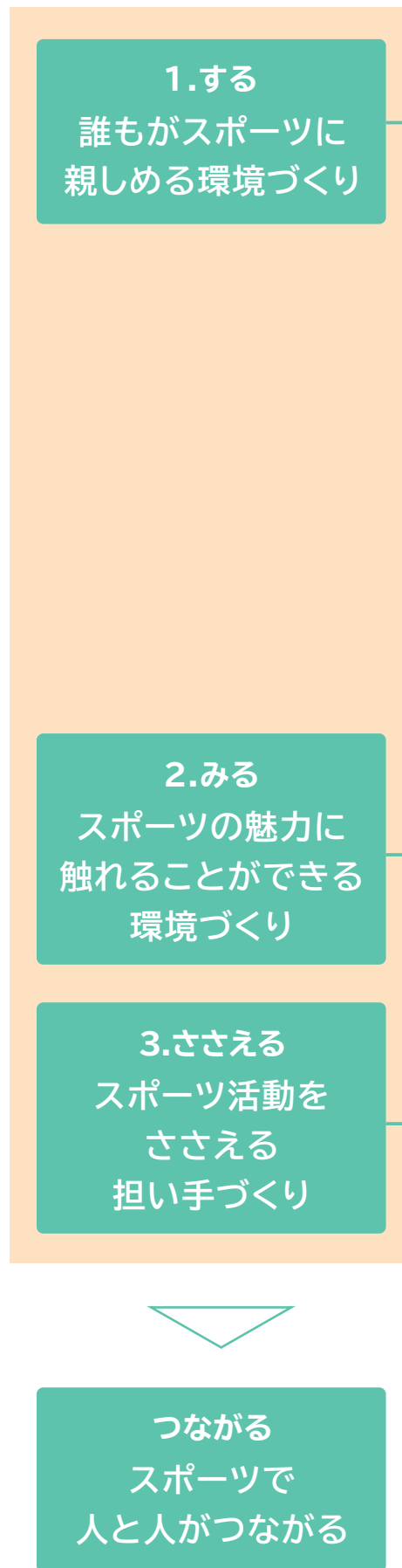
イメージ

◎ 施策体系

基本目標

施策

取組



1-1
ライフステージに応じたスポーツの推進

子供

- 「運動遊び」の機会の提供
- 「運動遊び」ができる施設や設備の整備
- 小中学生のスポーツ活動の充実
- 成果を発揮する機会の充実

子育て世代・就労世代

- 親子で体を動かせる機会の充実
- 日常生活で取り組むことができるスポーツの啓発

高齢者

- 高齢者が日常的にスポーツをできる環境づくり
- 高齢者向けスポーツの発信

地域スポーツの促進

- 地域でのスポーツイベント等の開催支援

1-2
身近な場所でのスポーツ活動の支援

身近な場所でスポーツができる環境の整備

- スポーツ施設等の利用促進
- 学校体育施設の利用促進
- 民間スポーツ施設との連携の検討

スポーツ情報の収集と発信

- スポーツイベント等の情報収集と発信
- 取り組みやすいスポーツの情報発信

1-3
多様なニーズに対応したスポーツ環境の充実

障がい者スポーツ

- 障がいのある人のスポーツ機会の充実
- スポーツ施設のバリアフリー化
- インクルーシブスポーツの普及啓発

新たなスポーツ(アーバンスポーツ等)

- アーバンスポーツ等の実施場所の検討
- デジタル技術を活用したスポーツとの関わり方の検討

多様なスポーツに対応した施設の整備

- 多目的・多目的で利用できるスポーツ施設の整備

2-1
トップアスリートとの連携の促進

ガンバ大阪との連携

- ガンバ大阪ホームタウン意識の醸成
- ガンバ大阪との交流の促進

アスリートの支援と交流

- アスリートとの交流の促進
- アスリートの活動支援
- 本市にゆかりのあるアスリートの情報発信

2-2
スポーツを観戦する環境の充実

スポーツ観戦がしやすい施設の整備

- スポーツ施設の観戦環境の充実

スポーツ関係団体の支援と連携

- スポーツ関係団体の活動の支援
- スポーツ関係団体の活動の発信

3-1
多様な担い手の確保と連携

指導者やボランティアの養成

- 講座等による人材育成と資質向上
- 指導者やボランティアの活動機会の充実

民間事業者や大学との連携

- 民間事業者との連携
- 大学との連携

数値目標 (R4▶R15)

週1回以上スポーツを実施する市民の割合

65.1% ▶ 70%



運動やスポーツをすることが好きな児童・生徒の割合

56.0% ▶ 65%



スポーツ施設及び学校体育施設開放事業の年間延べ利用者数

145.3万人 ▶ 200万人



スポーツを直接現地で観戦した市民の割合

25.4% ▶ 30%



ガンバ大阪を応援している市民の割合

39.3% ▶ 45%



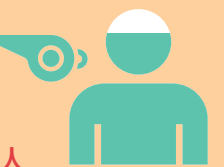
スポーツに関するボランティア活動を行う市民の割合

3.7% ▶ 8%



地域におけるスポーツ指導者の延べ認定者数

4,423人 ▶ 5,500人

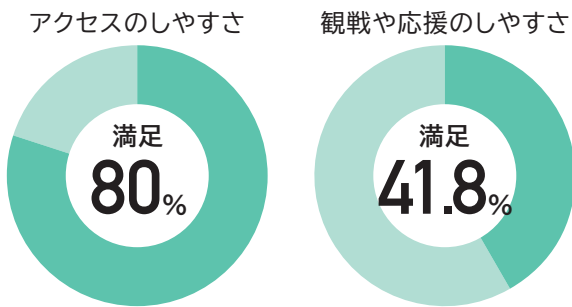


吹田市スポーツ施設整備方針

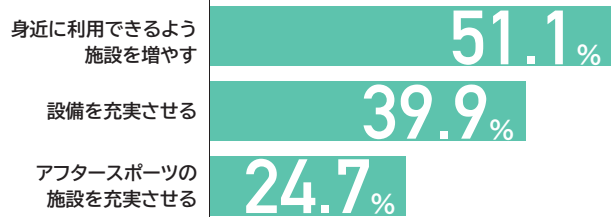
吹田市スポーツ推進計画における方向性を踏まえつつ、施設整備に向けた課題を整理したうえで、スポーツ施設のあり方や配置、有効活用など、今後のスポーツ施設整備(改修や修繕、建替等)を計画的に進めていくために「吹田市スポーツ施設整備方針」を作成しました。

◎ スポーツ施設の現状

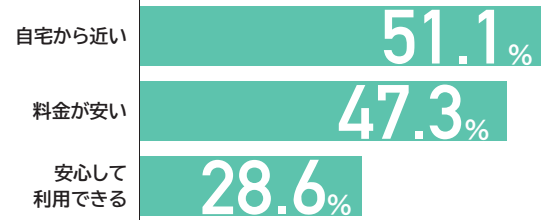
スポーツ施設の満足度(施設利用者アンケート)



スポーツ施設のあり方について(市民アンケート)



スポーツ施設利用時に考慮する条件(市民アンケート)



スポーツ施設の配置図



最も古い片山市民プールは **61** 年が経過

市立吹田サッカースタジアムに次いで新しい目依体育館でも **26** 年が経過

◎ スポーツ施設の課題

施設や設備の老朽化への対応

多くのスポーツ施設が建設後30年を超えており、大部分が直近10年以内に大規模修繕等が必要

多様化するスポーツへの対応

アーバンスポーツ、熱中症予防や紫外線対策など、多様化するニーズや種目、移り変わる流行への対応

誰もがスポーツに親しむことのできる場の提供

年齢や性別、国籍、障がいの有無等に関わらず、それぞれのライフステージや興味、関心に応じてスポーツに親しむことのできる環境

「みる」スポーツへの対応

観戦や応援のしやすさについて満足している市民が少なく、各種大会の主催者や参加者も観戦環境の充実を求めている

◎ スポーツ施設整備の方針

方針1 多様なスポーツニーズに対応できる施設

- 多様化する市民ニーズや種目、移り変わる流行にも対応できるよう、長期的視点に立って多目的・多目的で活用しやすく、環境に配慮した施設の整備を進めます。
- 天候に左右されず、様々な種目や用途で利用できる施設の整備を進めます。
- 熱中症や紫外線に配慮した、安全に利用できる施設の整備を進めます。



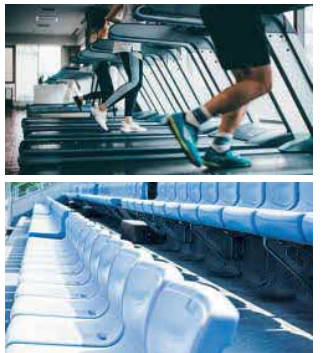
方針2 誰もが利用しやすい施設

- 障がいのある方や高齢者など、配慮を必要とする方にとっても利用しやすくなるよう、基本的なバリアフリー機能を有する施設の整備を進めます。
- 年齢や性別、国籍、障がいの有無などに関わらず、あらゆる人が一緒にスポーツを楽しむことができる、ユニバーサルデザインを取り入れた施設の整備を進めます。



方針3 特色のある施設

- 市民が日常的にスポーツに取り組むことができる身近なスポーツ拠点として、基本的な機能を維持しながらも、特徴的な機能や設備を付加することで、施設ごとに特色ある整備を進めます。
- スポーツ大会等の開催や、観戦・応援がしやすい、「みる」スポーツを意識した施設の整備を進めます。
- スポーツだけでなく幅広い分野との連携によるにぎわいの創出や地域の活性化も視野に入れた施設の整備を進めます。



方針4 子供がスポーツに親しむことのできる施設

- 生涯を通じてスポーツを楽しむための意識や習慣づくりを図るため、幼児期や低年齢児から楽しみながら体を動かすことのできる施設の整備を進めます。
- 子供の基礎的な体力の向上に寄与することのできる機能や設備が充実した施設の整備を進めます。



◎ スポーツ施設の整備にあたって

本方針を踏まえ、各スポーツ施設の具体的な整備の内容や優先順位等を整理したスポーツ施設整備計画を作成したうえで、吹田市公共施設(一般建築物)個別施設計画と整合を取りながら進めていきます。

	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度～ (2026年度)
スポーツ推進計画策定			スポーツ推進計画(R6～R15)	
スポーツ施設整備方針策定		スポーツ施設整備計画策定	スポーツ施設の整備	
			見直し	
	吹田市公共施設(一般建築物)個別施設計画(短期:R3～R7、中期:R8～R32)			